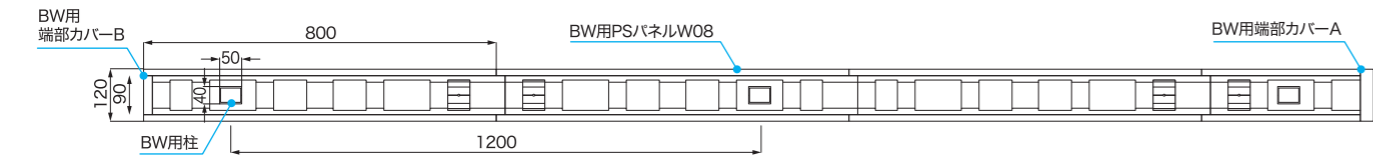
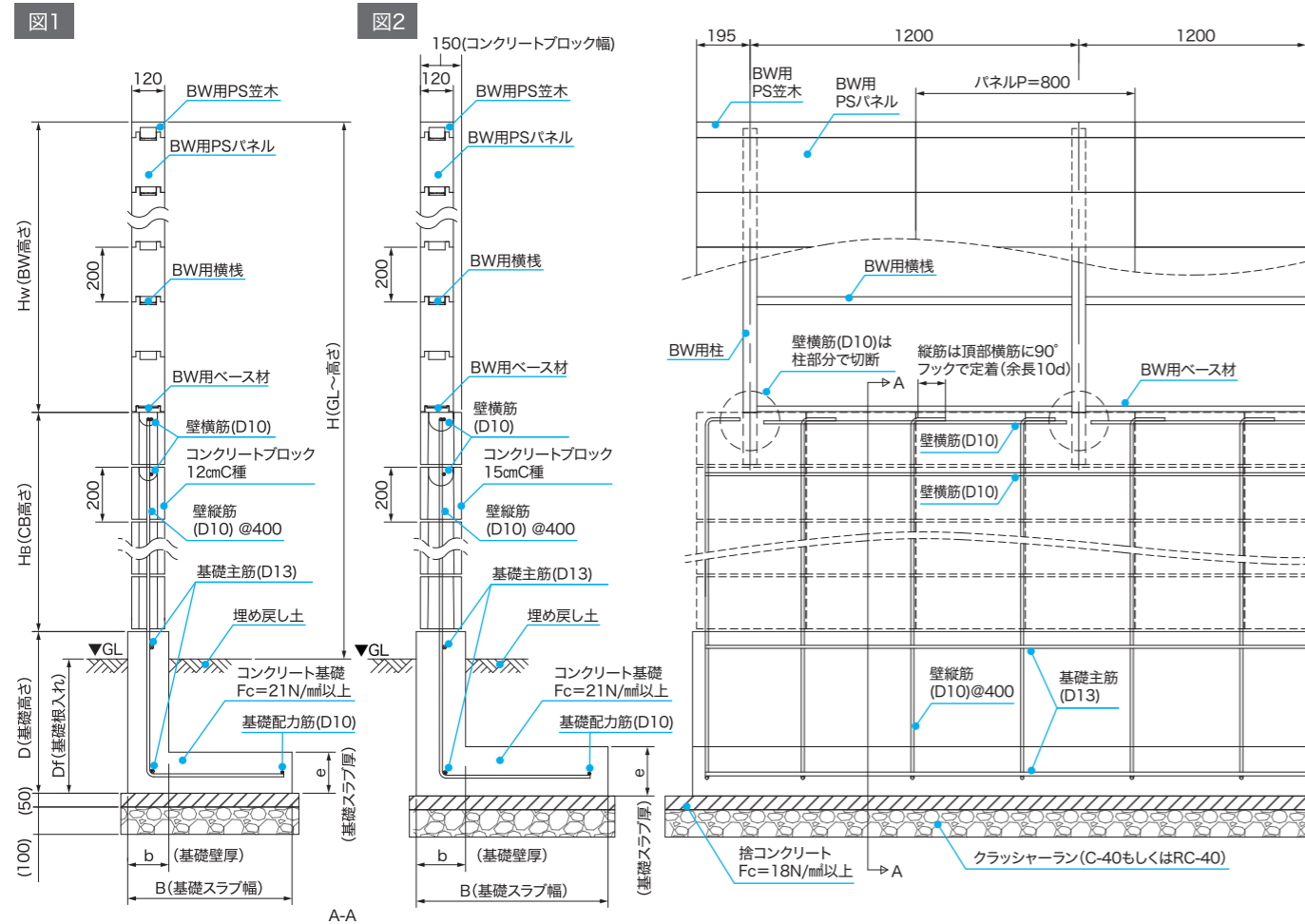


詳細納まり図

現場貼付タイプ 現場塗装タイプ 片面工場塗装タイプ



H(GL~)2000mm以下 H(GL~)2000mm超~2200mm



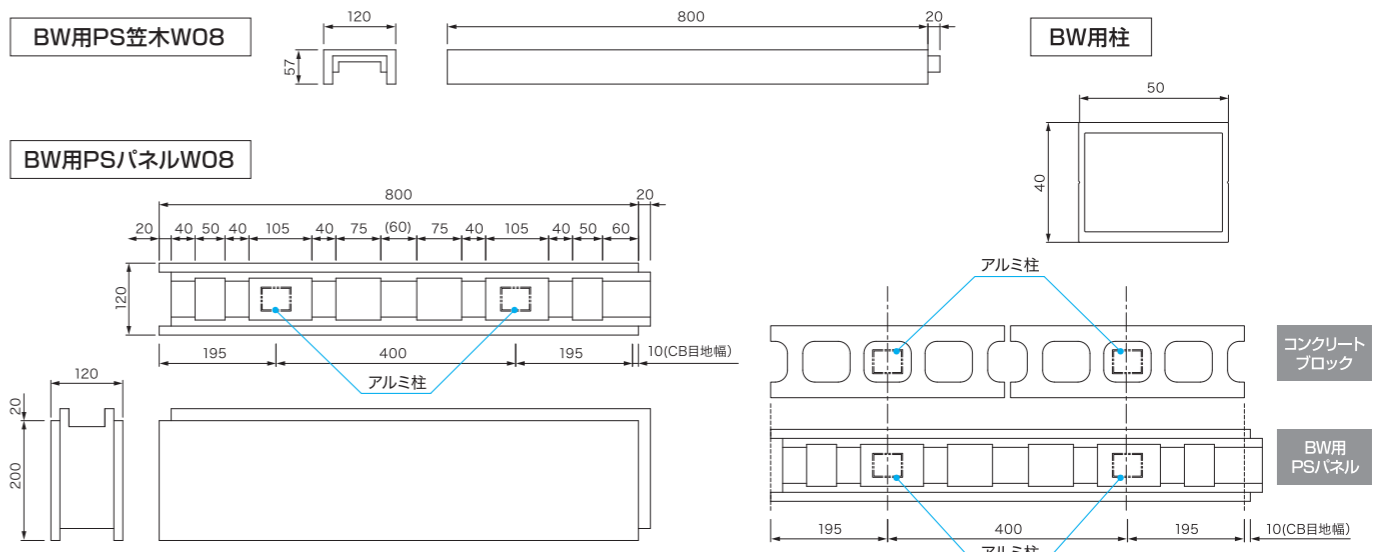
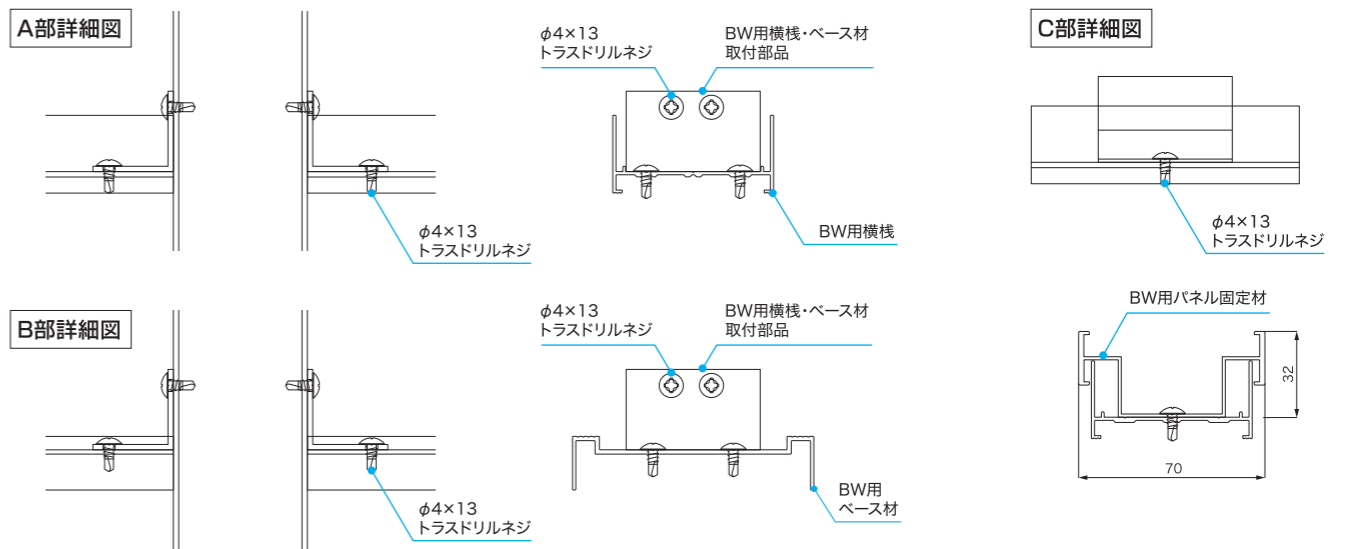
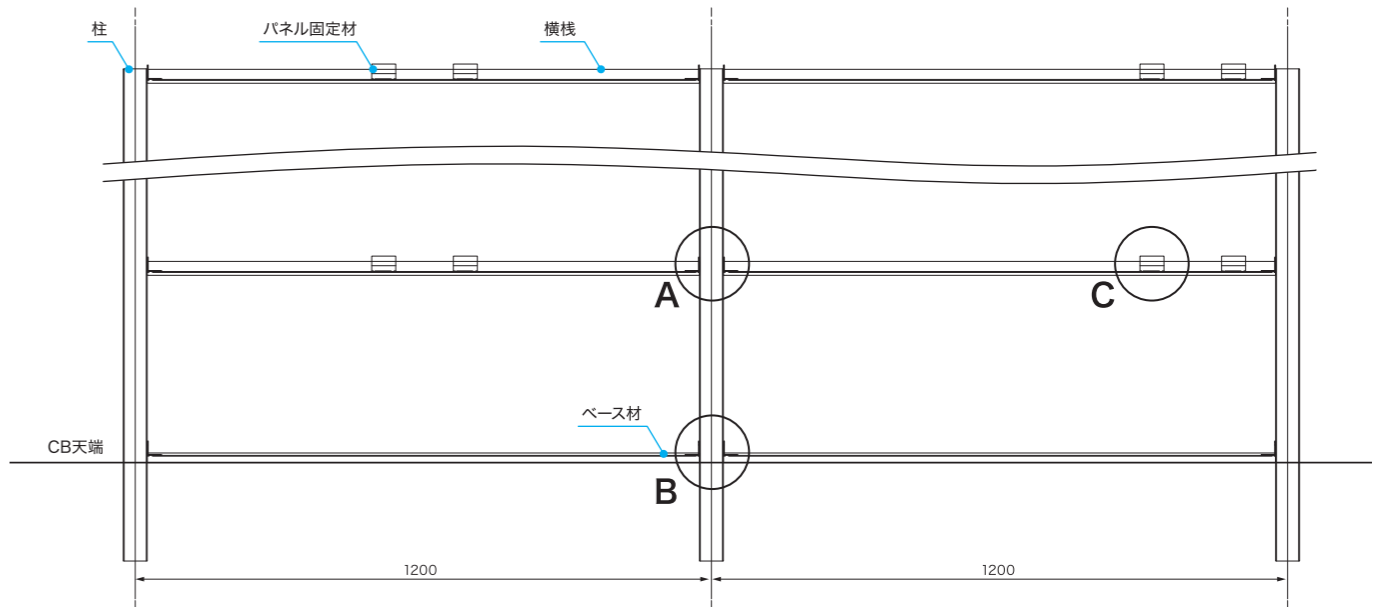
※図1はGLからの高さHが2m以下の場合の標準納まりです。
 ※図2はGLからの高さHが2m超~2.2mの場合の標準納まりです。
 ブロックオンウォールはCB片側に面揃えのため、柱を偏芯納まりにしています。
 ※表のL字基礎寸法は強度を確保するための寸法です。必ず守るようにしてください。
 ※強度上、コンクリートブロックは2000mm(GL~)以下は12cm幅、2000mm(GL~)を超える場合ブロック幅を15cmにしてください。
 ※コンクリートブロック高さHBは400mm(2段)以上~1000mm(5段)以下にしてください。(1段積みは強度低下のためおやめください。)
 ※コンクリートブロック(CB)はJISA5406C種同等品以上のものを使用してください。
 ※基礎寸法は地盤の長期許容応力度50KN/m²によるものです。
 ※設計施工の際はブロックオンウォールの取付説明書およびコンクリートブロック 掘設計準やブロックメーカーの施工要領書を参照してください。
 ※表裏でGLの高低差がある場合は最大400mm以内にしてください。
 ※基礎立上部分が型枠ブロック(CP)の場合や片側土圧(GL高低差)がある場合は右のQRコードから納まりを参照してください。

H (GL~)	HW(BW高さ) 高さ (段数)	HB(CB高さ) 高さ (段数)	D 基礎高	Df 根入れ	B(スラブ幅) 塗装仕様 貼り仕様	e スラブ厚	b 壁厚
1600	1060 (5)	400 (2)	490	350	550	150	150
	860 (4)	600 (3)					
1800	1260 (6)	400 (2)	540	400	600	150	150
	1060 (5)	600 (3)					
2000	1060 (5)	800 (4)	590	450	650	180	180
	860 (4)	1000 (5)					
2200	1260 (6)	800 (4)	590	450	650	180	180
	1060 (5)	1000 (5)					

※各サイズ詳細 納まり寸法・取説は QRコードより確認してください。



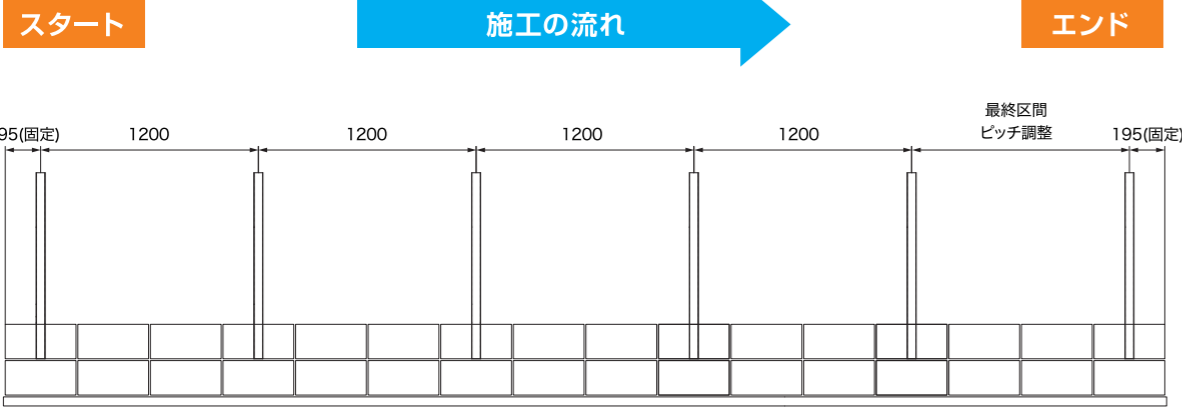
構造部材取付詳細図



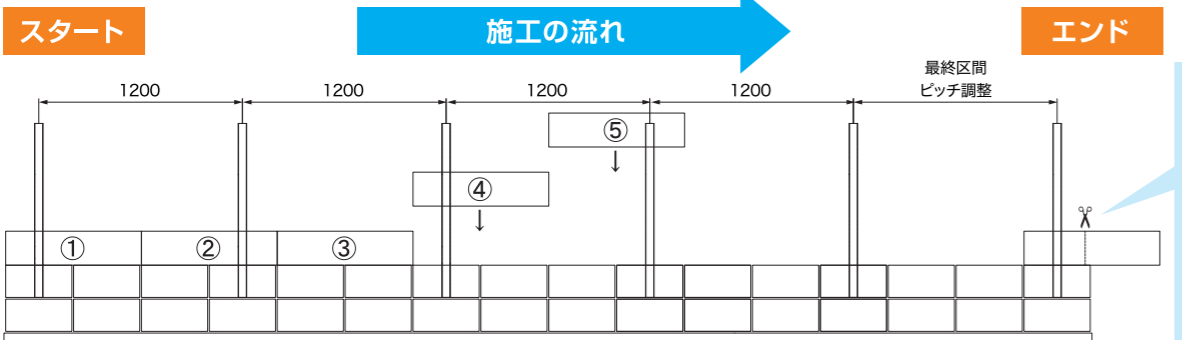
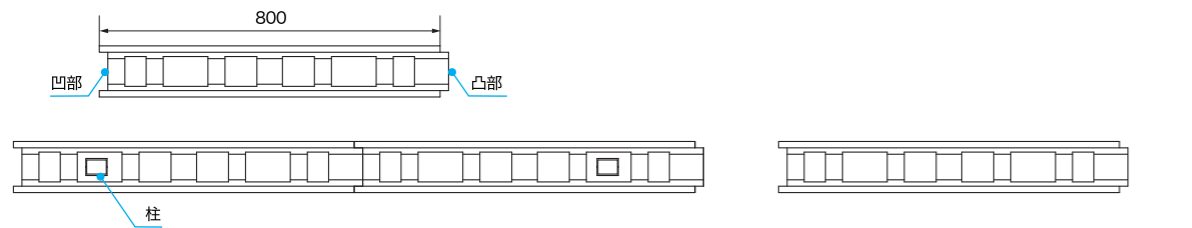
※ブロックオンウォールの各部材は専用部材です。スマートFウォールには使用できません。

施工要点説明

■柱は基本1200ピッチです。施工に向き・流れがあります。
 エンド側の区間を「最終スパン」と呼びます。必要に応じ最終スパンで柱ピッチ調整をします。
 柱ピッチは400mm未満で施工できません。



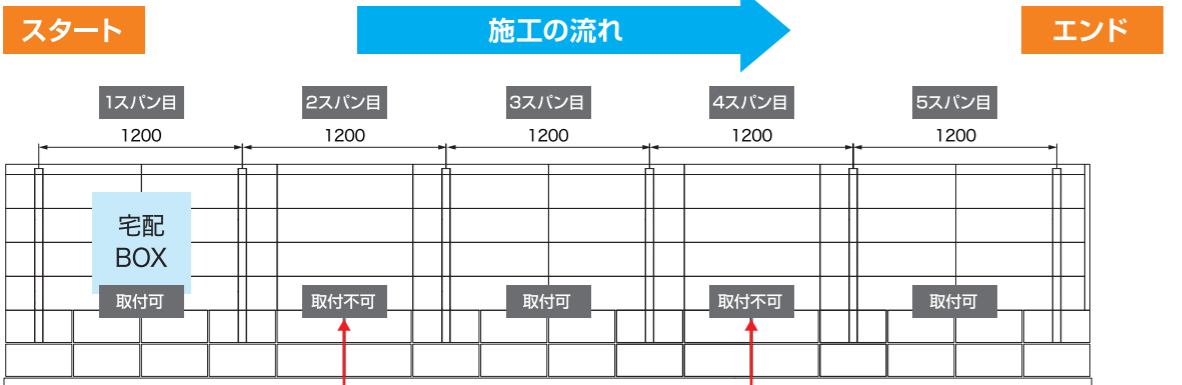
■PSパネルは800ピッチです。PSパネルには下図のように凸部・凹部があるため、上下左右に向きがあります。



基本施工
 (間口がブロック
 400ピッチの
 倍数)は、
 はみ出す分を
 カットして
 端部カバーを
 接着。

※現場フリー切詰(間口400ピッチの倍数でないとき)はP27を参照ください。

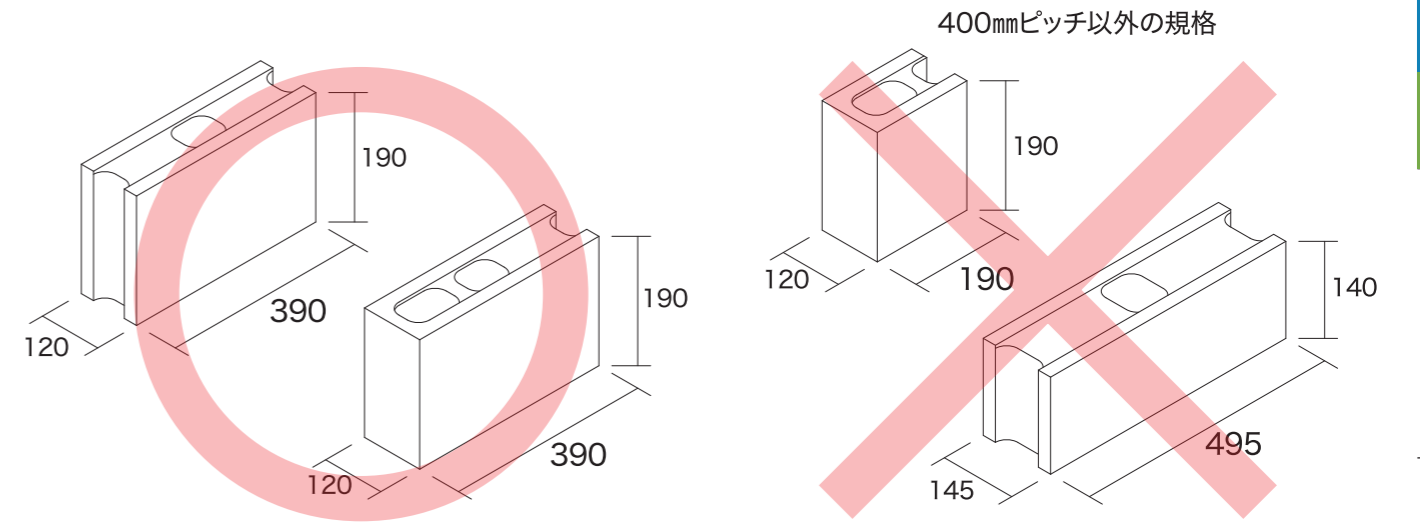
■宅配BOX・埋め込みポストは、最初の区間(1スパン目)に取り付けます。下図の場合、取付可能は左から1・3スパン目です。最終スパンは切詰ある場合は取付不可となります。



※左から2スパン目のような取り合いのところでは、パネルの穴位置の関係が変わってしまうため、宅配BOX・埋め込みポスト取付不可です。
 ※柱ピッチ1200mmのところの「奇数スパン」に宅配BOX・埋め込みポストを取付けてください。

施工要点説明

■400mmピッチ施工のブロックをご使用ください。



■コーナーは突き当て納まりです。寸法はカットで調整してください。現場打ちコンクリートやモルタルを追加して調整すると、PS部材が足りなくなります。

